

①所属名：三友堂リハビリセンター(さんゆうどうりはびりせんたー)

②協会会員番号:15033

③氏名：井上一樹 (いのうえかずき)

④所属県士会名：一般社団法人山形県作業療法士会

⑤タイトル「自分たちにできること」

⑥本文

3月11日は、プラットホーム上で患者さんとリハビリ中でした。今まで感じたことがない揺れが3分間ほど続きました。患者さんに「大丈夫ですよ」と声をかけるのが精いっぱいでした。幸いリハビリ室では転倒する方もなく、物が落ちてけが人が出ることもなく済みましたが、これまで体感したことのない最も大きな揺れでした。その後、病棟にも安否確認にまわり、当院ではけが人もないことを確認しました。すぐにラジオをかけ、東北地方に起こった大きな地震であることを知りました。当院の直接的な被害は少ない状況でした。しかしながら、甚大な被害をもたらした大地震は、その余震の度に安否確認が必要な状況となりました。

生活面で一番困ったことは、ガソリン不足の問題です。同じ方面から相乗りでの通勤の他、職場に泊まることもありました。燃料不足で物流が滞り、病院の食事提供にも非常に苦勞したこと聞いております。我々の生活は、化石燃料と電気なしでは成り立たないことを痛感したとともにその有難さを実感しました。

さて、3ヶ月が経過した今、この間を振り返ってみると、未だ行方不明の方がいらっしゃること、被災された方々がいらっしゃること、その方々の生活を考えると本当にどのような言葉をかけたらいいいのかわかりません。

被災された県では研修会、学会も中止となっていると聞いております。同じ、東北の一員として自分たちができることの一つとして、学会や研修会の開催を通し、できるだけ参加できる環境を作ることも必要だと感じています。震災がもたらした影響は非常に大きなものですが、東北にはここぞというときの粘り強さと団結力があります。ここ米沢には、上杉鷹山公の「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」名言が息づいております。その心得は「人が何かを為し遂げようという意思を持って行動すれば、何事も達成に向かうのである。ただ待っていて、何も行動を起こさなければ良い結果には結びつかない。結果が得られないのは、人が為し遂げる意思を持って行動しないからだ。」ということです。私たちひとりの作業療法士の力では“成らぬ”ことも、大勢の作業療法士が意志を持って集まればきっと“大きなちから成る”と思います。がんばろう東北!